

NETIS登録番号		技術名称		L型擁壁用コーナーブロック		
QS-100002-A		副題		フレキシブルに角度調整できるL型擁壁用コーナーブロック		
分類1	共通工	擁壁工	プレキャスト擁壁工	キーワード:コスト削減・生産性の向上、 公共工事の品質確保向上、景観		
分類2	共通工					
開発目標		経済性の向上、品質の向上、その他(景観)				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術					
特許	<input type="checkbox"/> 有り (特許番号: ) <input checked="" type="checkbox"/> なし					
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明					
問合せ先	会社名	株式会社 ヤマウ			TEL	092-872-3352
	住所	福岡県福岡市早良区東入部5丁目15-7			E-MAIL	yamasaki@yamau.co.jp
	担当者	山崎正隆				
実績件数	国土交通省		その他の公共機関		民間等	
H26.8.31現在	19件		163件		145件	

技術概要: (300字以内)

道路工事および宅地擁壁のL型擁壁工において、擁壁のコーナー部を90°～180°間の任意の折角で簡単に施工を可能とするブロックです。現場打ちの経済性とプレキャスト製品の品質・施工性を併せ持ち、隅角部の間詰めコンクリートを不要にした曲面仕上げにより美観にも優れています。

従来は次のような技術で対応していました。

- ・現場打ち
- ・プレキャストL型擁壁の底版部を切断し所定の折角で設置する
- ・直線部よりも2サイズ大きいL型擁壁をコーナーの一方に設置し、その底版上もう一方のコーナーに直線部と同等のL型擁壁を所定の折角で重ねて乗せる

「どこに新規性があるのか」

従来は、直線部と同等のプレキャストL型擁壁とその2サイズ大きいL型擁壁を重ね合わせた後、側壁合わせ目間に間詰めコンクリートを打設していました。製品の重ね合わせは手間がかかり施工性が悪く、また小断面の間詰めコンクリートはひび割れが発生しやすい状況でした。新技術では、これらを改善し、フレキシブルに角度を調整できるようにしました。

「期待される効果」

- ①コーナー用ブロックのそれぞれのブロックはT型構造のため単独での自立性に優れ、またコーナー部の突き合わせ・重ね合わせは、ピンを介して簡単に行うことができ、非常に簡単にコーナー部の施工ができます。
- ②コーナー用ブロックを使用することにより、間詰めコンクリートが不要で従来発生していた間詰めコンクリートのひび割れも無く、コーナー部の合わせ目が上下合わせて曲面仕上げとなっており、美観に優れています。
- ③底版部の突出し鉄筋を補強筋で連結したのち、コンクリートを打設することで、2つのコーナーブロックを連続体としてみる事ができ、擁壁コーナー部の安定性・強度を十分に満足します。
- ④現状ではコーナーの角度毎に製品の底版部を切断した特注品を使用していましたが、本製品は自在に折角をとれるため、標準品として扱えコストダウンが可能です。

「適用条件」

- ①自然条件  
底版の現場打ちコンクリート打設の際、降雨の影響を受けない対策が必要。
- ②現場条件  
作業スペース168m<sup>2</sup>以上(一例:25tラフテレーンクレーン及び10tトラックによる据付)。

「適用範囲」

- ①適用可能な範囲  
製品高3mまでの道路および宅地用擁壁のコーナー部。
- ②特に効果の高い適用範囲  
美観性を要求される市街地の道路および宅地用擁壁のコーナー部。
- ③適用できない範囲  
製品高3mよりも大きい擁壁コーナー部。  
90°未満のコーナー部。  
軟弱地盤。
- ④適用にあたり、関係する基準およびその引用元  
「道路土工 擁壁工指針 (平成11年3月 (社)日本道路協会)」  
「JIS A 5372:2004 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品)」

「留意事項」

- ①設計時  
必要地耐力検討が必要。
- ②施工時  
擁壁前面側から見て左(擁壁背面側からみて右)側のブロックを設置後、右(擁壁背面側からみて左)側のブロックを設置すること。

「写真・図等」

